

2016年3月期 決算説明会

おいしさ、ふれあい。
アヲコ。リマラム

2016年5月19日

目 次

I.2016年3月期業績	(P.2～P.12)
II.中期経営計画(ローリングプラン) (2016年度～2018年度)	(P.13～P.19)
III.ご参考資料	(P.20～P. 29)

I. 2016年3月期業績

(P.2～P.12)

II. 中期経営計画(ローリングプラン) (2016年度～2018年度)

(P.13～P.19)

III. ご参考資料

(P.20～P. 29)

1-(1).2016年3月期業績1

【連結損益計算書】

(百万円)

科 目	2015年3月期		2016年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比
売 上 高	341,183	100.0%	361,223	100.0%	105.9%
加工食品事業本部	227,398	66.6%	239,628	66.3%	105.4%
食肉事業本部	113,507	33.3%	121,306	33.6%	106.9%
その他	277	0.1%	288	0.1%	104.0%
売上原価	293,272	86.0%	311,155	86.2%	106.1%
売上総利益	47,911	14.0%	50,067	13.9%	104.5%
販管費	40,698	11.9%	42,104	11.6%	103.5%
営業利益	7,213	2.1%	7,963	2.2%	110.4%
営業外収益	1,126	-	1,214	-	-
営業外費用	604	-	401	-	-
経常利益	7,735	2.3%	8,776	2.4%	113.5%
特別利益	741	-	1,703	-	-
特別損失	437	-	450	-	-
税金等調整前当期純利益	8,039	2.4%	10,029	2.8%	124.8%
法人税等	1,848	-	3,275	-	-
非支配株主に帰属する当期純利益	▲ 202	-	324	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	6,392	1.9%	6,429	1.8%	100.6%

【主なポイント】

【商品別売上高】

(百万円)

・ハムソー	76,192 (前期比105%)
・加工食品他	142,696 (前期比108%)
・食肉	142,047 (前期比104%)
・その他	288 (前期比104%)

【売上原価】

・原材料、仕入品比率	0.3% アップ
・製造費用比率	0.1% ダウン

売上高原価率 ⇨ 0.2% アップ

【販売管理費】

・販管費(人件費比率)	0.4% ダウン
・販管費(経費比率)	0.1% アップ

売上高販管費比率 ⇨ 0.3% ダウン

売上高営業利益率 ⇨ 0.1% 増加

1-(2).2016年3月期業績2

【セグメント別損益】

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			期首中期計画 比差	期首中期計画
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比差		
売上高	加工食品事業本部	227,398	-	239,628	-	105.4%	230,000
	食肉事業本部	113,507	-	121,306	-	106.9%	116,800
	その他	277	-	288	-	104.0%	-
営業利益	加工食品事業本部	6,069	2.7%	9,064	3.8%	2,995	864
	食肉事業本部	1,091	1.0%	▲ 1,932	-1.6%	▲ 3,023	▲ 3,732
	その他	52	18.8%	831	288.5%	779	-

【個別損益】

(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		
	実績	売上高比	実績	売上高比	前期比差
売上高	258,122	100.0%	272,006	100.0%	105.4%
営業利益	6,416	2.5%	5,584	2.1%	▲ 832
経常利益	7,234	2.8%	7,145	2.6%	▲ 89
税引前当期純利益	7,239	2.8%	7,115	2.6%	▲ 124
当期純利益	6,057	2.3%	4,974	1.8%	▲ 1,083

【個別・子会社損益】

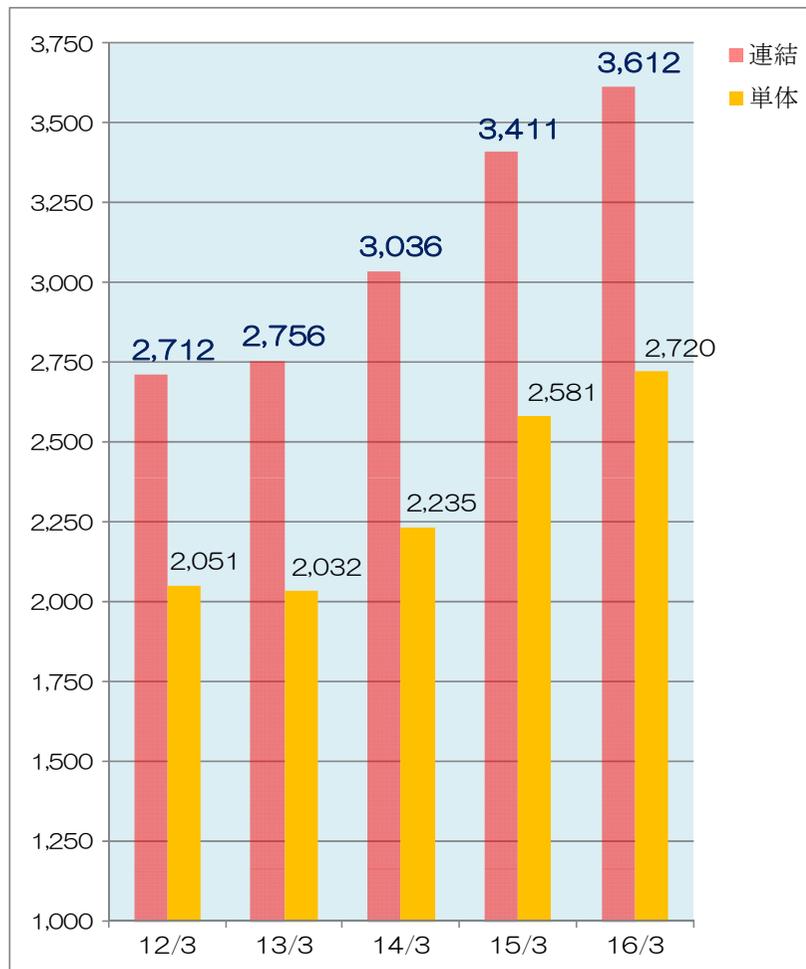
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期			
	売上高	営業利益	売上高	前期比	営業利益	前期差
プリマハム個別	258,122	6,416	272,006	105.4%	5,584	▲ 832
子会社	バンダー(1社)	▲ 638	80,079	106.0%	125	763
	その他(連結修正含む)	1,435	9,138	122.2%	2,254	819
連結合計	341,183	7,213	361,223	105.9%	7,963	750

2.売上高と営業利益の推移

売上高

(億円)



(注)1億円未満切り捨て

営業利益

(億円)



(注)1億円未満切り捨て

3-(1).2016年3月期 加工食品事業本部の状況

事業環境

- 個人消費→節約層の増加
- 円安→輸入商品・原材料・包装資材等の高騰
- コスト増に対応する食品価格改定
- 雇用環境の変化(賃金上昇、人手不足)
- WHOによる発がん性報道



580万人のお友だち獲得

施 策

- 重点商品を中心に販売活動を集中
- 販売促進策の展開強化
- 省人化推進と数量拡大
- ベンダー工場の生産基盤拡充と生産性の向上

成

- ・重点商品の販売構成比72.9%
- ・商品規格数約34%減(2011年比)
- ・新規取引、取引の拡大(LINEの活用)
- ・スペシャルプレゼントキャンペーン
プレシャスナイト(TDS10月16日貸切)ご招待
- ・TDLダイヤモンドホースシュー
プライベートキャンペーン
- ・本体4工場の「人時生産性」向上
- ・全国11工場稼動による生産数量拡大と収益の改善
- ・雇用状況の改善と省人化推進

果

- ハムソー販売数量
前期比103%
- 加工食品販売数量
前期比100%
- 前期比
6%アップ
- 売上拡大
前期比106%

3-(2).2016年3月期 加工食品事業本部の状況2

損 益		(百万円)		
	2015年3月期	2016年3月期	前期比	前期差
売上高	227,398	239,628	105.4%	12,230
営業利益	6,069	9,064	149.3%	2,995
売上高営業利益率	2.7%	3.8%		

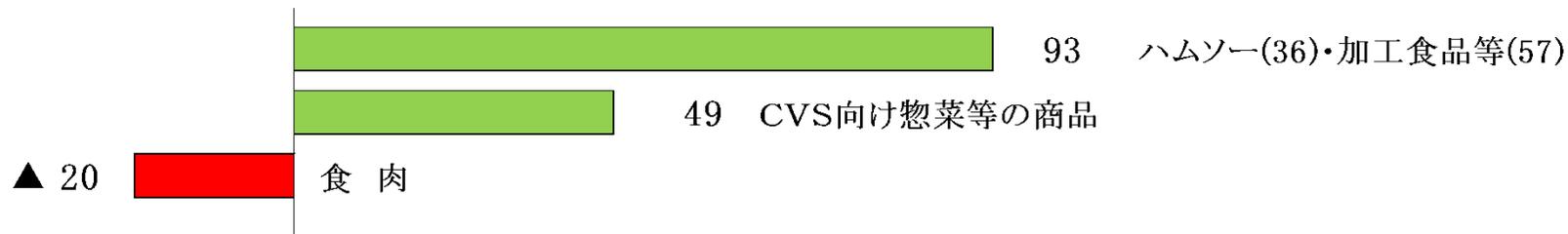


☆販売数量 前年比113%

収益の増減要因

★売上高の増加

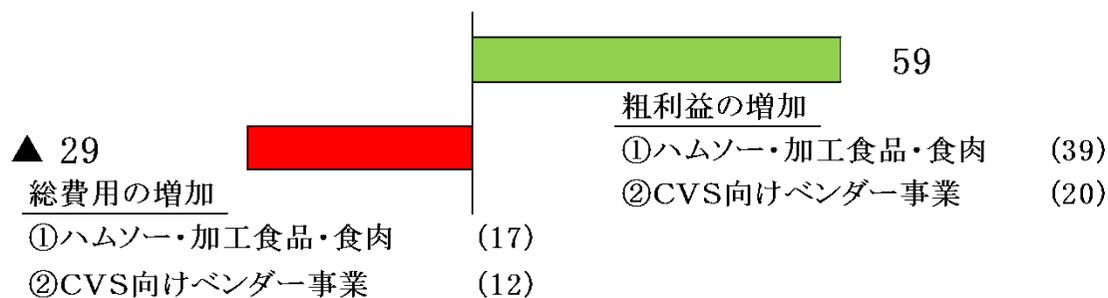
122 億円



★営業利益の増加

30 億円

(仕入原材料費▲63億円、総費用▲29億円をハムソー数量増21億円・販売単価増15億円、加工食品数量増1億円・販売単価増56億円、食肉販売数量減▲20億円、バンダー事業49億円等の売上増で賄う。)



4-(1).2016年3月期 食肉事業本部の状況

事業環境

- 食肉の海外現地相場乱高下
- 国産食肉相場の高値推移
- 国産牛肉の供給減少
- PED(豚流行性下痢)の影響
- 店頭食肉売価の上昇



輸入ポークオリジナルブランド

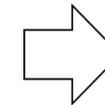
施 策

成

果

- 国産豚肉・国産牛肉の拡販

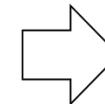
- ・国産豚肉販売数量
- ・国産豚肉粗利益
- ・国産牛肉販売数量
- ・国産牛肉粗利益



前期比103%
 前期比107%
 前期比102%
 前期比 74%

- 輸入豚肉・輸入牛肉の拡販

- ・輸入豚肉販売数量
- ・輸入豚肉粗利益
- ・輸入牛肉販売数量
- ・輸入牛肉粗利益



前期比107%
 前期比127%
 前期比104%
 前期比 41%

・輸入冷凍牛肉の評価損計上

4-(2).2016年3月期 食肉事業本部の状況2

損益

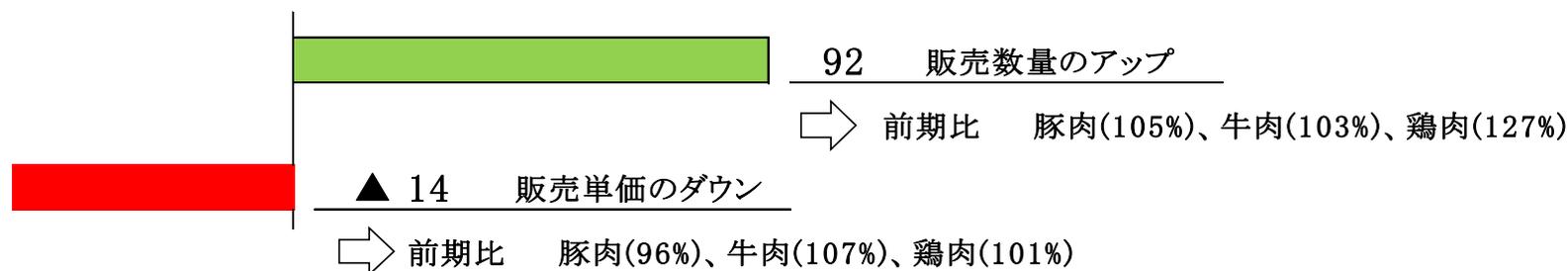
(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	前期比	前期差
売上高	113,507	121,306	106.9%	7,799
営業利益	1,091	▲ 1,932	-177.1%	▲ 3,023
売上高営業利益率	1.0%	-1.6%		

収益の増減要因

★売上高の増加

78 億円



★営業利益の減少

▲ 30 億円

(利益単価の減少▲21億円、販売数量増4億円、減価償却費増▲6億円、保管料・運搬費増▲4億円、その他▲3億円)



5.2016年3月期末 連結貸借対照表

(百万円)

	2015年3月期末	2016年3月期末	増 減
流動資産	61,088	69,241	8,152
固定資産	80,572	84,270	3,697
総 資 産	141,661	153,511	11,850
流動負債	60,350	58,669	▲ 1,681
固定負債	24,783	24,806	22
負債合計	85,134	83,475	▲ 1,659
株主資本	42,686	57,282	14,596
その他の包括利益	7,261	5,881	▲ 1,379
累計額	6,578	6,871	293
非支配株主持分	6,578	6,871	293
純資産合計	56,526	70,036	13,509
負債純資産合計	141,661	153,511	11,850

【流動資産】

- ・現金及び預金 14億59百万円
- ・棚卸資産の増加 45億60百万円

【固定資産】

- ・有形固定資産の増加 64億89百万円
(土地11億58百万円、建設仮勘定74億86百万円など)
- ・長期貸付金の減少 ▲25億93百万円

【負債合計】

- ・支払手形及び買掛金の減少 ▲35億15百万円
- ・短期借入金増加 23億58百万円

【純資産合計】

- ・資本金及び資本剰余金の増加 90億90百万円
- ・利益剰余金の増加 55億11百万円

6.2016年3月期 キャッシュ・フロー、各種経営指標

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(百万円)

	2015年3月期	2016年3月期	増 減
営業活動キャッシュ・フロー	7,850	4,946	▲ 2,904
投資活動キャッシュ・フロー	▲ 10,376	▲ 12,354	▲ 1,978
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 818	9,347	10,165
現金及び現金同等物の期末残高	4,988	6,927	1,939

【営業活動キャッシュ・フロー】

- ・減価償却費の計上
64億67百万円
- ・棚卸資産の増加
43億93百万円
- ・仕入債務の減少
34億52百万円

【投資活動キャッシュ・フロー】

- ・有形固定資産の取得
123億67百万円
- ・無形固定資産の取得
6億74百万円

【財務活動キャッシュ・フロー】

- ・株式の発行による収入
90億90百万円
- ・長期借入金の調達
30億円
- ・長期借入金の返済
32億65百万円

【各種経営指標】

(百万円、%)

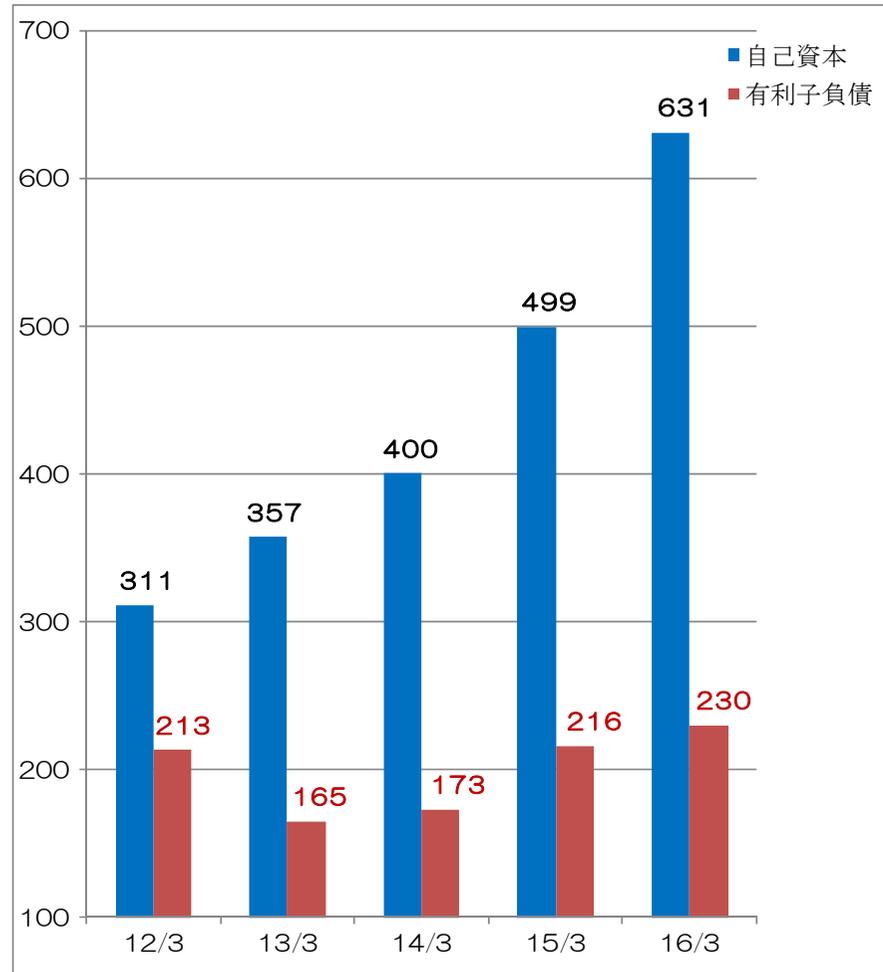
	2015年3月期	2016年3月期	増 減
自 己 資 本	49,948	63,164	13,216
自 己 資 本 比 率	35.3	41.1	5.8
有 利 子 負 債	21,660	23,025	1,365
負 債 資 本 倍 率	0.43	0.36	-0.07

*純資産合計から少数株主持株分を除いたものを自己資本としています。

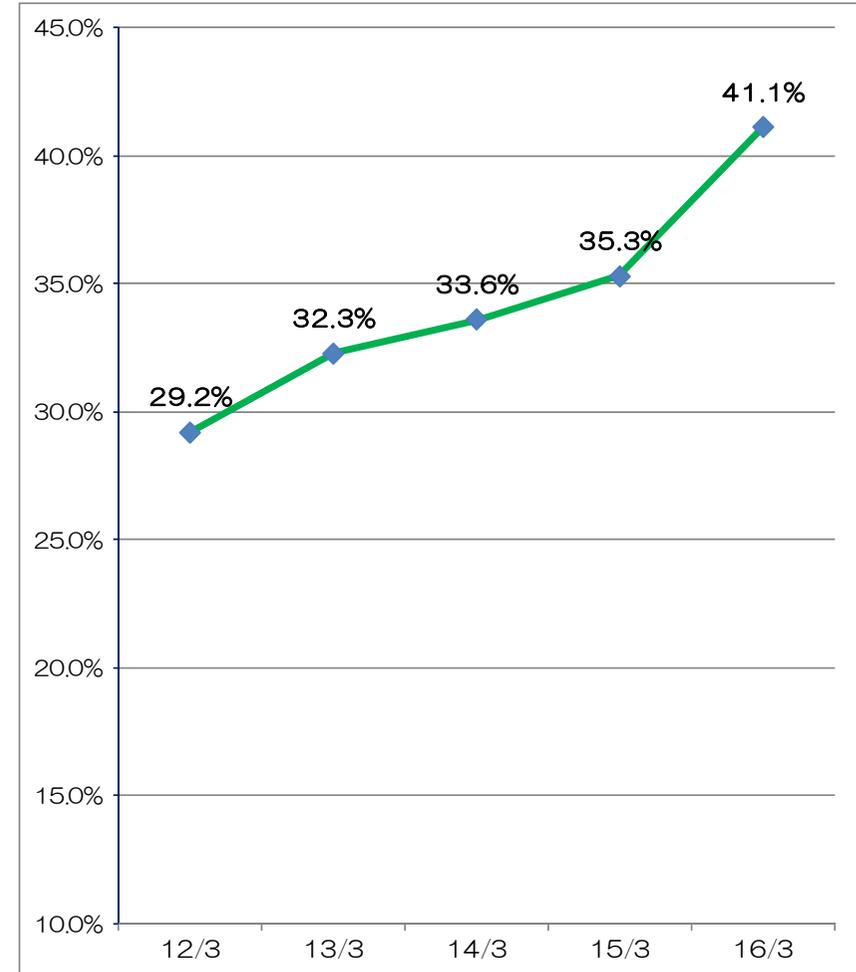
7. 自己資本・有利子負債と自己資本比率の推移

自己資本と有利子負債

(億円)



自己資本比率



(注)1億円未満切り捨て

I. 2016年3月期業績

(P.2～P.12)

II. 中期経営計画(ローリングプラン)
(2016年度～2018年度)

(P.13～P.19)

III. ご参考資料

(P.20～P. 29)

1.経営方針

総合的な営業力・開発力の強化により、収益の基盤となる売上拡大を具現化し、お客様に必要とされる「なくてはならない会社」を目指す。

将来的に継続した発展をなし得るために、積極的な設備投資による強固な体制を構築し、目標に掲げるローリングプランを達成する。

○基本方針

コーポレートガバナンス強化とCSR推進による継続的な経営革新

品質保証体制の強化継続
人材育成・法令順守・環境保全・内部統制

既存2大事業の領域拡大及び収益基盤の更なる強化

コスト構造改革
営業力強化
消費者視点での商品政策(安心・安全・美味しい・健康)

成長市場に向けた事業創造とグローバル展開

伊藤忠商事とのコラボレーションを主体とした国内外事業展開
革新的生産技術開発
グループ会社との連結経営強化

2.連結損益 中期計画(ローリングプラン)

(単位:億円)

	2016年3月期実績	2017年3月期計画	2018年3月期計画	2019年3月期計画
連結売上高	3,612	3,810	4,010	4,120
前回中期計画		3,520	3,580	
営業利益	79	90	99	117
前回中期計画		85	97	
経常利益	87	86	97	117
前回中期計画		87	99	
当期純利益	64	54	60	75
前回中期計画		56	61	
注) 当期純利益は、「親会社株式に帰属する当期純利益」				
設備投資額	141	239	123	78
前回中期計画	241	158	71	
減価償却費	65	79	89	86
前回中期計画	57	82	81	

3.2017年3月期(2016年度)の見通し

		2016年3月期実績		2017年3月期見通し		
		第2四半期累計	通 期	第2四半期累計	通 期	前期比差
加工食品 事業本部	売 上 高	119,349	239,628	126,000	253,000	105.6%
	営 業 利 益	4,237	9,064	4,100	7,500	▲ 1,564

(百万円、%)

【ポイント】

- ハムソー、加工食品事業 ⇨ 更なる販売数量の増加によるシェアアップと生産性向上による総費用増の抑制
茨城工場新ウイナープラントのスケジュール通りの稼動と完工
- CVS向けベンダー事業 ⇨ 店舗拡大に対応した売上の増加とコストダウンによる収益性の改善
要員の安定確保と生産性向上

		2016年3月期実績		2017年3月期見通し		
		第2四半期累計	通 期	第2四半期累計	通 期	前期比差
食 肉 事業本部	売 上 高	62,284	121,306	64,000	128,000	105.5%
	営 業 利 益	▲ 489	▲ 1,932	600	1,500	3,432

(百万円、%)

【ポイント】

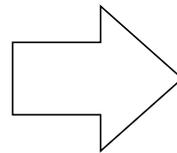
- 食肉事業の収益改善 ⇨ 商品別採算管理とグループを含めたトータル管理の徹底
得意先と連携した調達から店頭販売までの仕組み構築

4-(1).2017年3月期 事業環境と重点施策(加工食品事業本部)

事業環境

- 節約志向、低価格志向、価値志向に対する価格競争の激化
- 流通のグループ化・寡占化と店舗・販売形態の多様化・PB商品の高品質化
- コンビニエンスストアの出店増と競業によるサービス・商品の差別化激化
- 円高傾向と米国における豚生産増による豚価安定

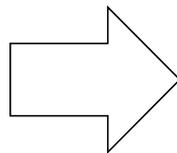
売上の拡大、
シェアアップ



選択と集中で営業力を強化

- 重点商品集中販売の継続
- お得意先様とのキャンペーン恒例化による関係強化 (TDRの活用、TDLの貸切イベント実施)
- 革新的生産技術を駆使した商品の開発
- ベンダー事業における開発力強化と生産性の向上
- PB商品に対する選択的対応
- 販売促進策強化によるブランドイメージ向上

コストダウンによる
原価低減



「革新的ものづくり」の継続と、低コスト体質の推進

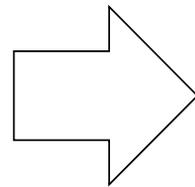
- 新技術の開発と工程改革
- 合理化、省人化投資の継続
- 商品数削減による効率化の推進
- ベンダー事業における売上原価率の改善
- 既存工場のカパシティー拡大

4-(2).2017年3月期 事業環境と重点施策(食肉事業本部)

事業環境

- 国産食肉相場の高値継続
- 国際的な仕入れ競争激化によるコストバランス変動
- 世界規模での畜肉の需給バランス・商流の変化
- 流通のグループ化・寡占化と店舗・販売形態の多様化

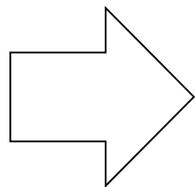
営業力の強化



得意先の変化に合わせた営業体制の構築

- オリジナルブランドの有効活用
- 調達から店頭販売までの仕組み構築
- 消費シーンの変化・多様化に対応した、きめ細かな仕組みづくり
- 伊藤忠グループと連携した営業活動の展開

調達・開発力の強化



環境変化に対応できる調達と商品開発

- 自社国産豚肉の川上事業の強化による更なる事業拡大
- 安定供給のできるサプライソースの拡大(国産牛)
- オリジナルブランド、加工生肉の新規商品開発
- 食肉加工場(北海道、鹿児島)の戦力化(生肉産地パック等)
- TPP、EPA等の関税制度に対応したサプライソースとの関係構築

5.2016年度(2017年3月期)の取組み

食肉加工拠点の整備

- ⇒ 北海道・鹿児島食肉加工センターの戦略的活用
- ・カット、包装加工による産地パック始動
 - ・自社国産豚肉事業の拡大
 - ・国内豚肉事業のインテグレーションを拡充

ハムソー工場の生産性向上



- ⇒ 茨城工場新ウィナープラントの安定稼動
- ・スムーズな立ち上げと完全移設までのスケジュール管理の徹底
 - ・工場見学による新プラントの特性をアピール

ベンダー事業の拡大

- ⇒ 相模原第二工場の立ち上げ
- ・2017年2月竣工に向けた工事管理
 - ・厚木工場からの移設計画準備の徹底
 - ・関東地方での販売領域の拡大

海外での販売拡大

- ⇒ タイ、中国における国内販売事業の拡大

I.2016年3月期業績

(P.2～P.12)

II.中期経営計画(ローリングプラン)
(2016年度～2018年度)

(P.13～P.19)

III.ご参考資料

(P.20～P.29)

連結損益の推移

【連結損益計算書】

(百万円)

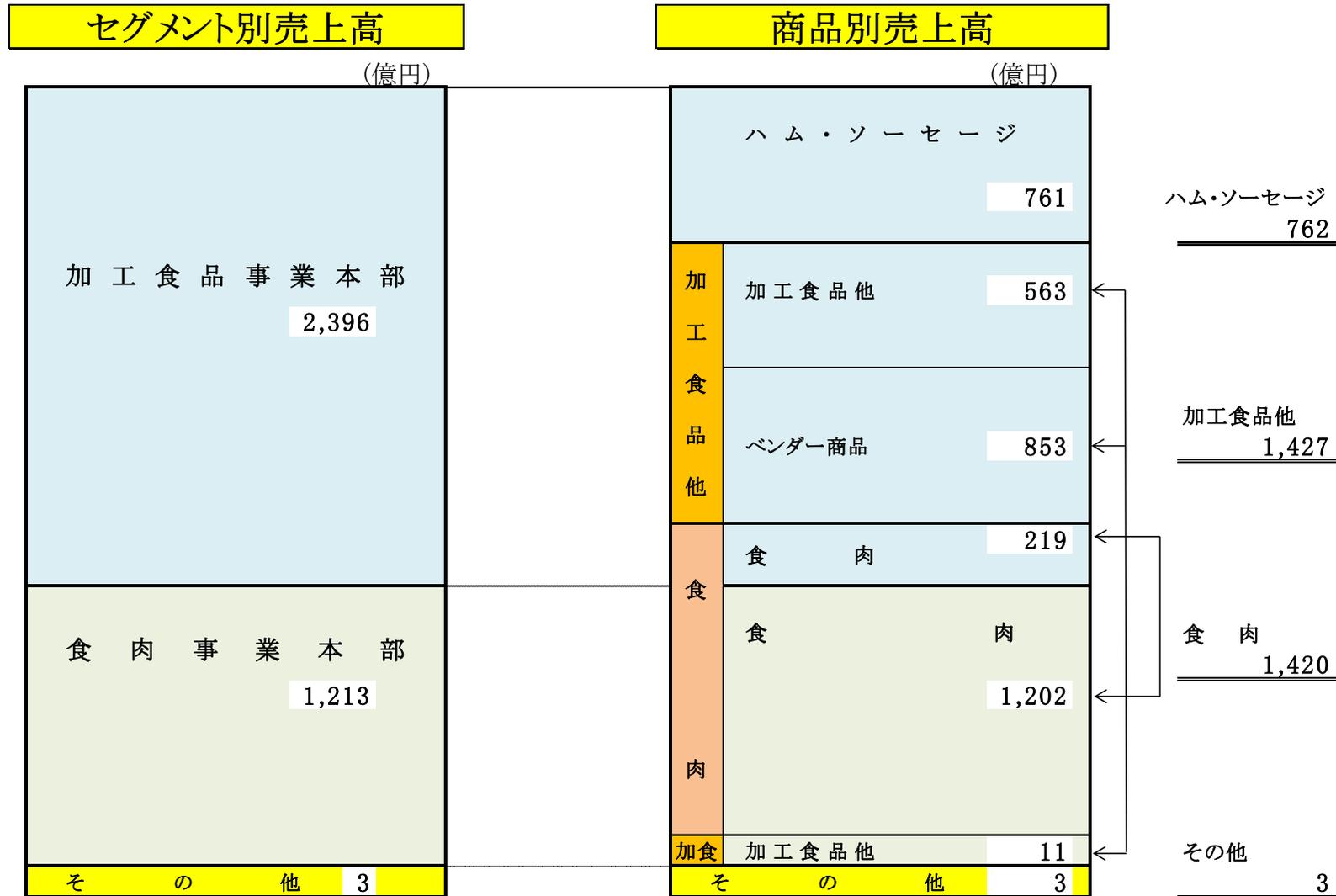
		2014年3月期			2015年3月期			2016年3月期		
	セグメント	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績
売上高	加工食品事業本部	97,891	103,700	201,591	109,872	117,526	227,398	119,349	120,279	239,628
	食肉事業本部	49,493	52,184	101,677	53,548	59,959	113,507	62,284	59,022	121,306
	その他事業	151	181	332	128	149	277	129	159	288
	合 計	147,536	156,064	303,600	163,549	177,634	341,183	181,763	179,460	361,223
	売上原価	124,437	131,732	256,169	139,724	153,548	293,272	156,659	154,496	311,155
	売上総利益	23,099	24,332	47,431	23,824	24,087	47,911	25,103	24,964	50,067
	販売費及び一般管理費	19,051	19,567	38,618	3,676	37,022	40,698	20,955	21,149	42,104
	営業利益	4,047	4,766	8,813	3,676	3,537	7,213	4,148	3,815	7,963
	営業外損益	420	65	485	388	134	522	553	260	813
	経常利益	4,467	4,831	9,298	4,064	3,671	7,735	4,701	4,078	8,779
	特別損益	▲ 667	163	▲ 504	▲ 20	324	304	306	947	1,253
	税金等調整前当期純利益	3,799	4,995	8,794	4,044	3,995	8,039	5,007	5,022	10,029
	親会社株主に帰属する当期純利益	1,488	2,704	4,192	2,188	4,204	6,392	2,847	3,582	6,429

（ご参照）商品別の売上高

(百万円)

		2014年3月期			2015年3月期			2016年3月期		
	商品別	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績
売上高	ハムソー	32,264	33,146	65,410	35,996	36,542	72,538	39,763	36,429	76,192
	加工食品他	59,409	65,127	124,536	64,881	67,331	132,212	70,169	72,527	142,696
	食 肉	55,712	57,610	113,322	62,544	73,611	136,155	71,703	70,344	142,047
	その他	151	181	332	128	149	277	129	159	288
	合 計	147,536	156,064	303,600	163,549	177,634	341,183	181,763	179,460	361,223

5.2016年3月期 売上高比較(セグメント別・商品別)



連結貸借対照表の推移

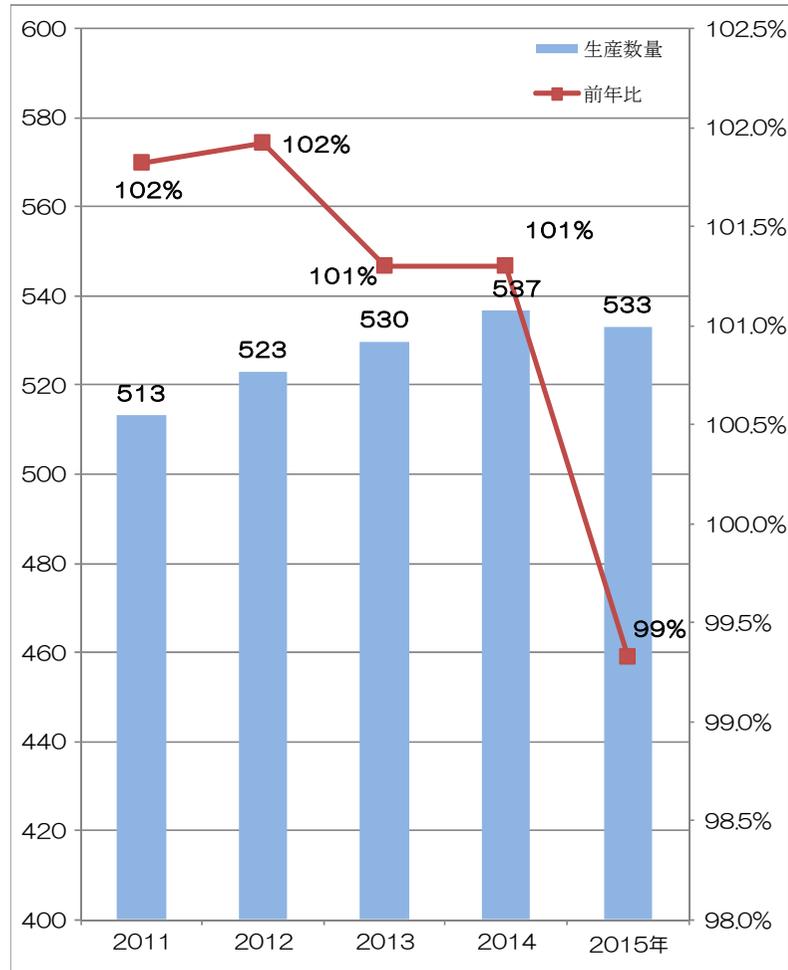
【連結貸借対照表】

(百万円)

	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績
流動資産	51,832	51,814	57,728	61,088	57,728	69,241
固定資産	60,033	67,447	75,682	80,572	75,682	84,270
総資産	111,865	119,261	133,411	141,661	133,411	153,511
流動負債	49,511	50,275	58,744	60,350	58,744	58,669
固定負債	18,336	21,678	24,619	24,783	24,619	24,806
負債合計	67,848	71,953	83,363	85,134	83,363	83,475
株主資本	33,375	36,178	38,349	42,686	38,349	57,282
その他の包括利益 累計額	3,523	3,908	4,507	7,261	4,507	5,881
非支配株主持分	7,118	7,220	7,190	6,578	7,190	6,871
純資産合計	44,017	47,307	50,047	56,526	50,047	70,036
負債純資産合計	111,865	119,261	133,411	141,661	133,411	153,511

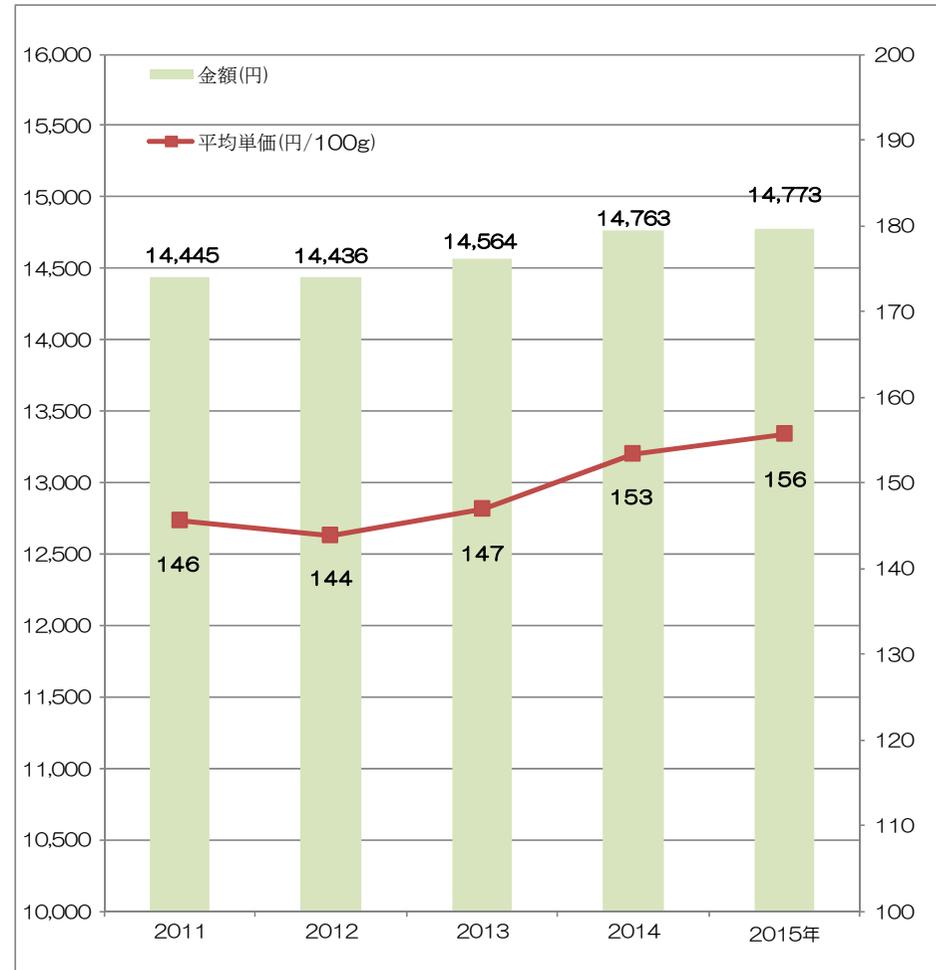
業界動向の資料

(1)ハム・ソーセージ類生産数量(国内)の推移 (千トン)



(備考)日本ハム・ソーセージ工業協同組合による

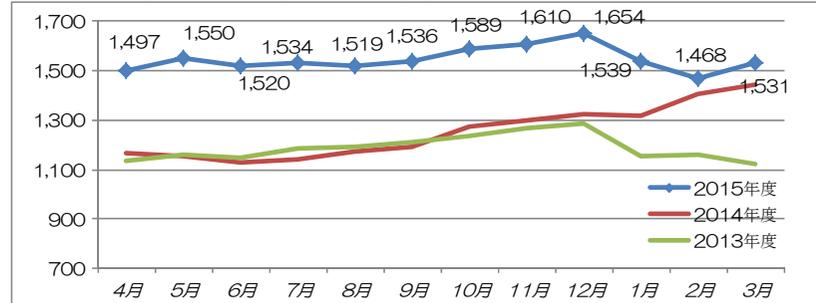
(2)ハム・ソーセージ類の家計消費金額(年間・税抜き)



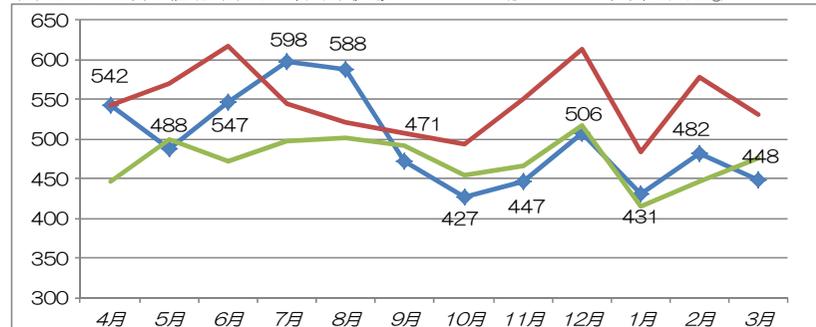
総務省統計局 家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)

業界動向の資料2

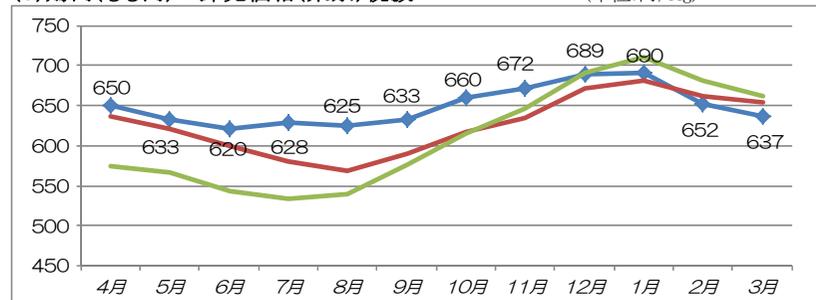
(1) 交雑牛去勢B3の卸売価格(東京)税抜 (枝肉ベース、単位:円/Kg)



(2) 豚肉の卸売価格(東京・省令)税抜 (枝肉ベース、単位:円/Kg)

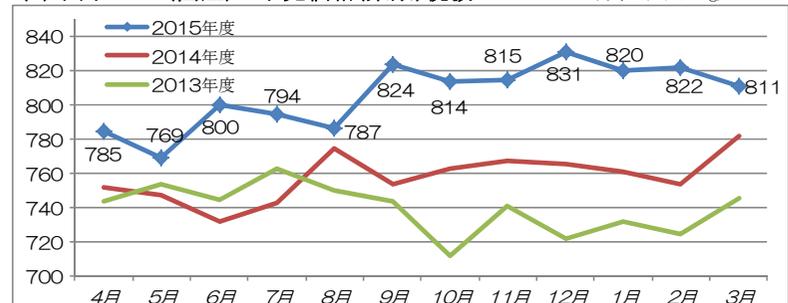


(3) 鶏肉(もも肉)の卸売価格(東京)税抜 (単位:円/Kg)

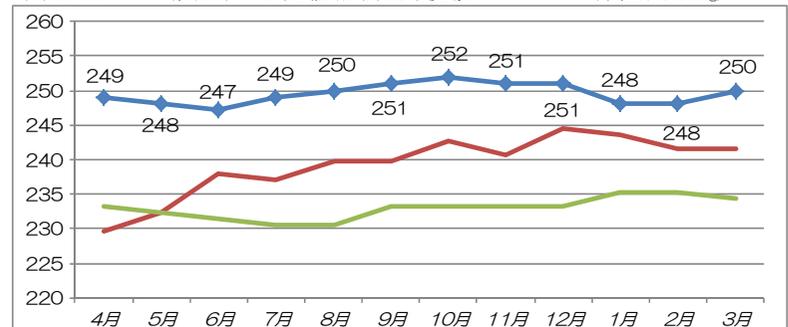


農林水産省(食肉流通統計)

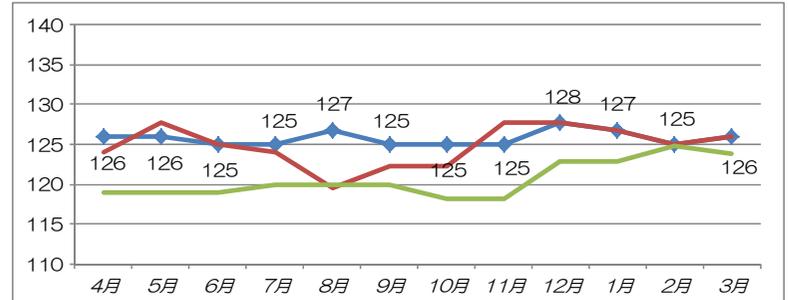
(4) 牛肉ロース(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



(5) 豚肉ロース(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



(6) 鶏肉もも(国産)の小売価格(東京)税抜 (単位:円/100g)



総務省(小売物価統計調査報告)

Profile (2016年3月31日現在)

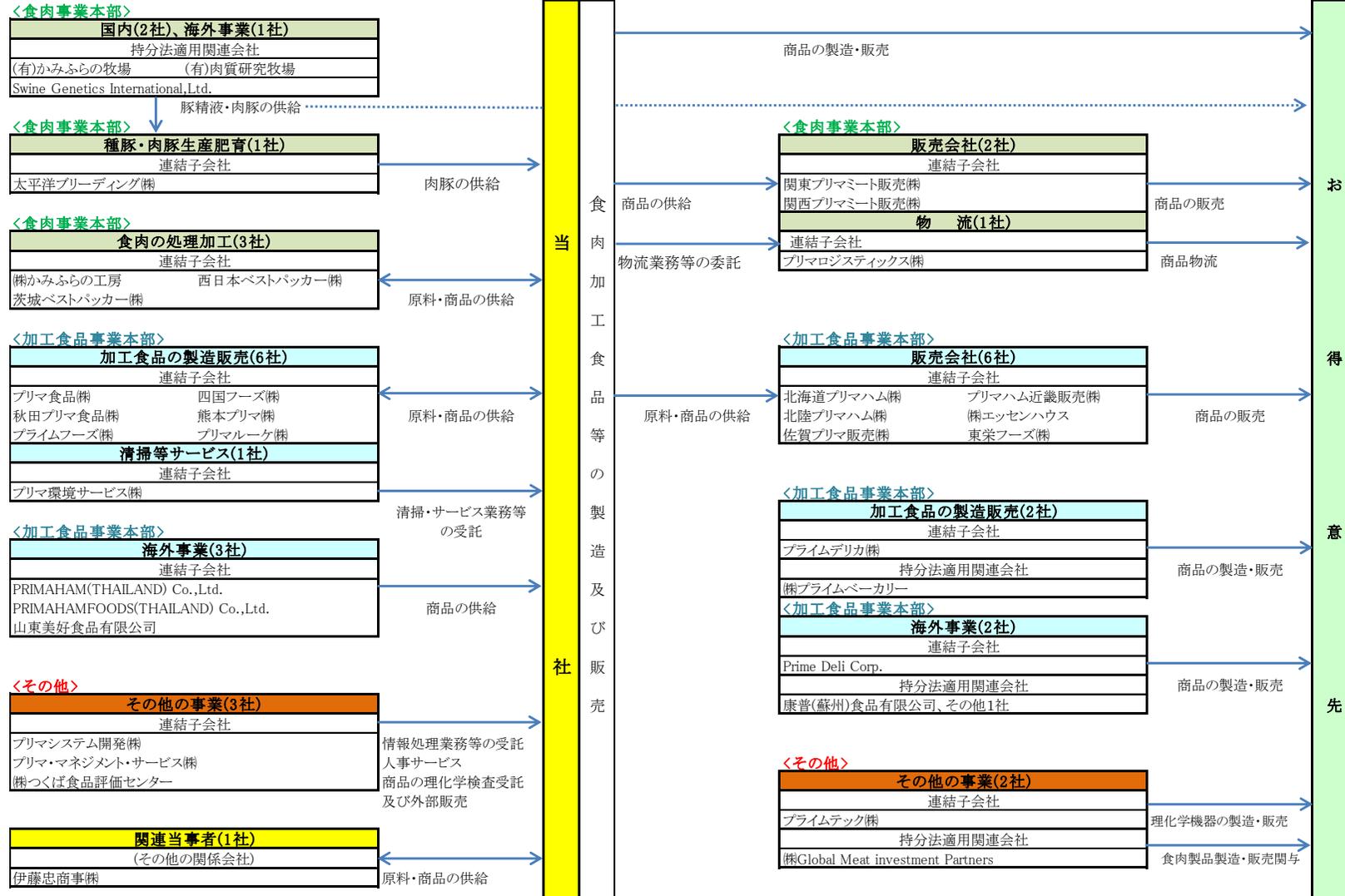
■ 会社概要

本 社	東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー
代 表 者	代表取締役社長 松井 鉄也
事 業 内 容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造・販売
設 立	1948年7月9日
資 本 金	79億800万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	2,017 名(52名減)
事 業 所 (注)	営業拠点 6支店 25営業所(1所減) 生産拠点 4工場
グループ会社 (注)	36 社(2社増) 連結子会社 29 社 持分法適用関連会社 7 社(2社増)
企業集団従業員数	13,634 名(215名増)
グループ拠点	生産拠点 25工場(国内) 6拠点(海外)
(備 考)	
1.増減は前年度末(2015年3月31日現在)との比較	

■ 会社のあゆみ

1931年9月	金沢市に竹岸ハム商會を開設
1948年7月	高岡市に竹岸畜産工業株式会社を設立
1962年8月	東京、大阪両証券取引所第一部に上場
1965年5月	社名をプリマハム株式会社に変更
1984年3月	東京ディズニーランド公認スポンサーとして参加
2004年4月	三重工場「ISO14001」認証取得
2005年3月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルシルバースポンサーとして参加
2005年4月	本社、他生産工場「ISO14001」認証取得
2007年5月	全国4工場(ハム・ソーセージ)「ISO22000」 認証取得
2008年7月	加工食品製造工場、物流部門「ISO22000」 認証取得(計26事業所で認証取得)
2010年4月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルゴールドスポンサーとして参加
2011年9月	創業80周年を迎える
2014年11月	ラグーナテンボスと公式スポンサー契約を締結

企業集団の状況 (2016年3月31日現在)



経営ビジョン

おいしさ、ふれあい

お客様との絆を大切に、食の「おいしさ」、人との「ふれあい」を通じて楽しく豊かな食の未来を創造する。

経営理念 ープリマの原点ー

- 一、正直で基本に忠実
- 一、商品と品質はプリマの命
- 一、絶えざる革新でお客様に貢献

経営ビジョン

1. 一人一人が想像力、提案力とスピーディーな行動力を発揮し
2. 卓越した商品開発力と技術力を結集して
総合力でお客様に安全でおいしい食品と関連情報を提供し
健康で豊かな食生活に貢献する。
3. 果敢に自己変革して収益力のある総合食品企業に脱皮する。

注 意 事 項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく
当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。
従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

お問合せ先

プリマハム株式会社 総務・広報部

TEL. 03-6386-1800

FAX. 03-5462-1701

ホームページアドレス <http://www.primaham.co.jp/>